

磯路地域活動協議会通信 156号

<https://isoji.info/>

2026年2月

防災

防災学習（土曜授業） 1月17日（土） 磯路小学校講堂・各教室

阪神・淡路大震災から31年を迎えた1月17日、磯路小学校では、震災の記憶を風化させることなく次世代へ確実に伝えるため、毎年この時期に防災学習を実施しています。

大阪では1854年に大地震と津波による甚大な被害が発生し、さらにその前の1707年にも津波が襲来しています。毎年のように震度6を超える地震が各地で発生している状況を踏まえると、「いつ災害が起きてもおかしくない」という現実が改めて浮かび上がります。そのような中で、子どもたちが災害時に生き残るための知恵と行動力を身につけられるよう、今年も磯路自主防災組織「磯路風°（イソップ）」は、磯路小学校の先生方と連携して訓練を行いました。

当日は、最初に一般社団法人「予防団」（現役消防士と消防設備士が設立した法人）の井上消防士による講話が行われました。アニメーションやクイズを交えた分かりやすい説明に、子どもたちは真剣な眼差しで耳を傾けていました。「災害は突然やってくる。だからこそ日頃の備えが大切」という言葉は、子どもたちの心にも深く刻まれた様子でした。

2時間目以降は学年ごとに分かれて訓練を実施しました。1・2年生の段ボールベッドの体験と3・4年生の水消火器を使った消火訓練を、磯路風°（イソップ）が担当しました。このほかにも、「非常持ち出しバッグの中身を考える」「防災110分アタック」「ワークショップ」「非常食・α化米の試食」など、多彩なプログラムが行われました。これらの取り組みは、単なる知識の習得にとどまらず、子どもたちが「自分の命を守るために何ができるか」を主体的に考える貴重な機会となりました。



地域では、「災害が起きたときに、地域のすべての人が生き残ることができるように」備えるために、さまざまな活動が行われています。近い将来、必ず起こるとされる大地震に備え、地域の皆さまもこの機会に、非常持ち出し袋や備蓄用品を改めて確認してみてもはいかがでしょうか。





ほっとにゅーす



いそじ〜らんど 1月24日(土) 磯路会館 老人憩の家

節分を前に、巻き寿司作りに挑戦しました。食品用手袋とマスクを着用し、衛生面に十分配慮しながら調理を行いました。

巻きすの使い方に苦戦している子には、周囲のスタッフや先にできあがったお友だちの協力があり、最後にはみんな上手に巻くことができました。「今年は南南東を向いて食べましょう！」という合図で、自分で作った巻き寿司をおいしくいただきました。

午後からの創作の時間では、ソックスを使った雪だるま作りに取り組みました。頭になる部分と胴体部分のバランスが難しく、倒れてしまわないように何度も綿の量や詰め方を調整しながら、表情や飾りにもそれぞれ個性が光る作品が完成しました。

いそじ〜らんどでは、季節の行事を取り入れた活動を大切にしています。次回は2月28日(土)に開催予定です。準備の都合上、参加を希望される方は事前にお申込みをお願いしています。



Tel : 06-6571-3633 Mail : isojinosakura@yahoo.co.jp



Cafe

ふれあい喫茶

2月21日(土)

10:00~13:00

Menu コーヒー (HOT) / 紅茶 (HOT) / ジュース

トーストまたは

お菓子付き 150円

CAFE OPEN

第28回
春いちばん
ふれあい
フェスティバル
令和8年2月22日(日)
【時 間】10:00~15:00
【場 所】港区民センター

コーヒーコーナー

■6階/第5集会所
10:00~14:30

舞台発表 10:45~14:00
■7階/区民ホール

フラダンス・コーラス・朗読・尺歌・紙芝居・オカリナ・美聲隊・バンド

作品展示 10:00~15:00
■6階/第1集会所

トールペイント・シャドーボックス・フラワーアレンジメント・折り紙・パッチワーク・ペン習字・花巻しむ・ちぎしむ・墨ペン・スタンシル・生け花・クラフトバンド・版画 など

体験 ■5階/第6集会所
※材料がなくなり次第終了します。【有料】

- くつ下で作る雪だるま 11:00~12:30
- パーチメントクラフト 12:00~13:30



体験 ■3階/みなとラウンジ
10:00~14:30

●ペットボトルキャップで作るエココスター



編集後記

厳しい寒さが続き、身も心も縮こまりがちな日々です。来る投開票日に向けてニュースが盛り上がるなか、地域でも各種役員の改選時期を迎えました。町会、地区社会福祉協議会、地域活動協議会に、PTAやこども会、老人会……。あちらこちらで「次はどなたを……？」と探り合いが行われ、重鎮と呼ばれる年齢に入った方々からは「今回で終わり」と引退を表明する声も。新しいスタッフさんたちも入ってきているとは言え、地域に求められる役割も年々増えており、スタッフ集めに頭を悩ませる団体も少なくありません。

「できるときに、できることから」、まずは一歩、地域活動に関わってみませんか。皆さんの参加が、これからの地域を支える力になります。気軽に一歩。あなたの参加を、ワクワクしながらお待ちしております。